

新発田市多文化共生推進指針（概要版）

第1章 指針の概要

■指針の位置付け

この指針は、2020（令和2）年に総務省が改訂した「地域における多文化共生推進プラン」の観点を取り入れるとともに、「新発田市まちづくり総合計画」に示されている多文化共生施策に基づき、国籍や文化の違いを認め共生する社会の実現に向け、市民、自治会、企業、学校、市民団体、行政などが一丸となって取り組むための基本的な考え方を示すものです。

■多文化共生の方向性

日本で暮らす外国籍者は、この10年間で100万人以上増加しています。多文化共生施策を取り巻く社会経済情勢の変化に対応していくため、国は、「地域における多文化共生推進プラン」を2020年に改訂しました。当市においても、「新発田市まちづくり総合計画」において、多文化共生のまちづくりを推進していくこととしているほか、本指針を策定し、各分野の計画等と整合を図りながら施策を進めていきます。

第2章 新発田市の現状と課題

■当市の現状

新発田市における総人口は、直近10年間で約7,900人減少しています。反対に外国人住民数は、直近10年間では約180人増加しており、総人口に占める外国人の割合は10年で1.5倍に増加しています。

国籍別では、中国・ベトナムが合わせて半数近くを占めており、近年の労働市場の需要の高まりから、技能実習や特定技能※に属する外国人住民が増えている傾向にあります。

また、日本人の少子高齢化が進む一方、外国人は生産年齢人口が増加しています。

※介護・ビルクリーニングなどの特定業務従事者

■これまでの市の取組

当市では、新発田日本語教室と連携した日本語の学習支援や日本語ボランティア養成講座を実施しているほか、定住自立圏である胎内市と連携し、外国人を対象とした防災セミナーを開催しています。2021（令和3）年からは多文化共生コーディネーターを配置しており、外国人住民や市内の大学とも連携しながら、多文化共生の取組を進めています。

■今後の課題

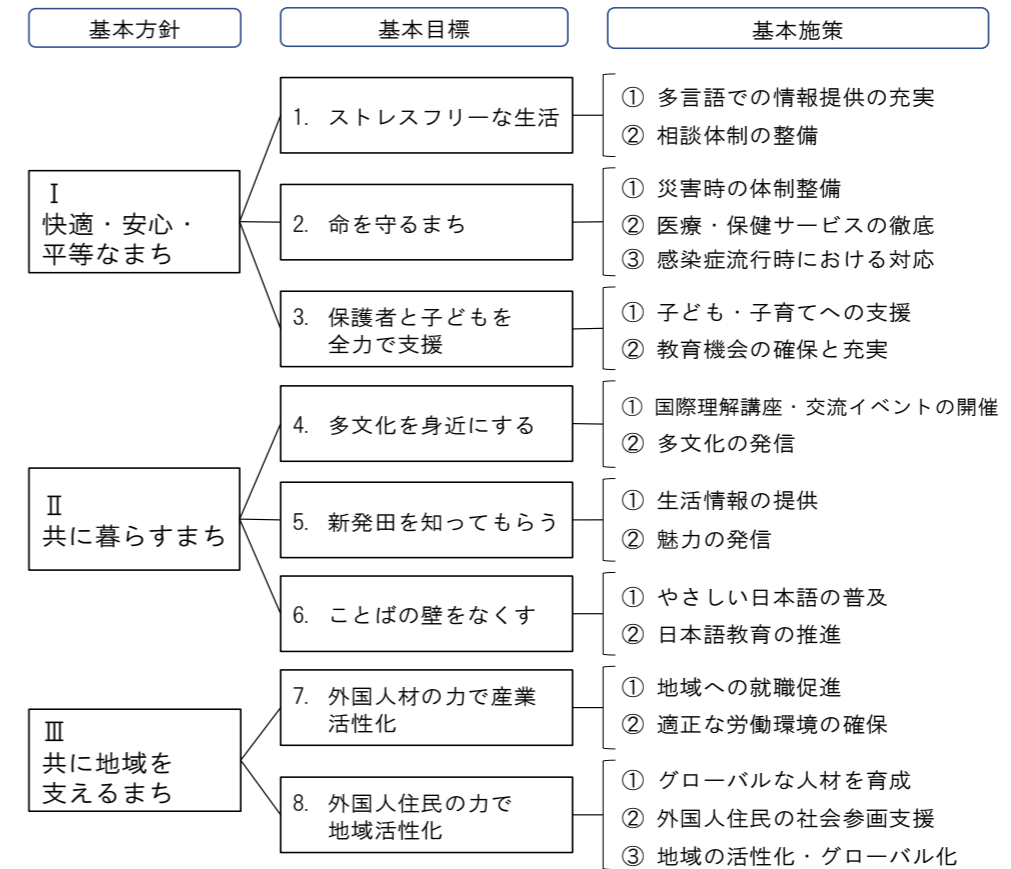
外国人住民が新発田市で安心して暮らしていくためには、言語や文化の違いにより地域から取り残されることがないようにしていかなければなりません。そのためには、生活に関する課題、命に関する課題、子育てに関する課題等、課題ごとに整理して、取り組む必要があります。

第3章 指針の基本理念と体系

■基本理念

すべての市民が国内外の異なる文化や多様な価値観を認め合う共生のまち

国籍や民族の異なる市民が、互いの文化的違いを認め合い、安心安全に暮らせるまちづくりを目指します。



第4章 指針の基本方針と施策

基本方針Ⅰ 快適・安心・平等なまち

外国人住民が言語や文化の違いにより感じる生活上の不便や不自由、不安の解消を目指すほか、災害や感染症の流行等に備え、生活全般にわたって協働を図り、国籍関係なく安心して暮らしていける仕組みづくりを推進します。

基本方針Ⅱ 共に暮らすまち

日本人住民と外国人住民の互いの文化への理解と尊重の醸成を図るほか、外国人住民も地域社会の一員として共に暮らし、新発田市で長く住んでいくため、日本語及び日本での生活について学ぶ機会を創出します。

基本方針Ⅲ 共に地域を支えるまち

外国人住民が、日本人住民同様に、居住する地域の担い手として様々な活動に参画し、地域社会に貢献できる環境づくりを推進します。